

令和4年度 群馬県中学校新人バレーボール大会 申し合わせ事項

1. 組み合わせ抽選について

- (1) 県総合大会のベスト4のチームを地区シードとし、各都市大会の最上位校（同じ郡市が複数校の場合はその順番にて）を抽選によって第1シードから第4シードの位置にシードされる。地区の考慮はしない。
- (2) 県総合大会のベスト8のチームを地区シードとし、各都市大会の最上位校（同じ郡市が複数校の場合はその順番にて）を抽選によってそれぞれ第5シードから第8シードの位置にシードされる。地区の考慮はしない。
- (3) 同地区から2チーム以上出場している場合は、決勝まで対戦しない（1/2ゾーン）ように、抽選時に配慮される。3チーム以上出場している場合は、準決勝まで対戦しない（1/4ゾーン）ように、抽選時に配慮される。5チーム以上出場している場合は、1回戦では対戦しないように、抽選時に配慮される。
【注】学校シードと地域シードの位置は地区を考慮しないので、上記のようにならないこともある。
- (4) 各地区の1位扱いチームの抽選を先に行い（女子はシード校と1回戦で対戦しないようにし）、その後は原則として、出場チーム数が多く、条件が限られる地区から抽選をして、組合せを作成していく。

2. チーム構成について

- (1) チームは、監督1名・コーチ1名・マネージャー1名・選手登録15名（出場できるのは12名、リベロプレーヤーを含む）・生徒マネージャー1名。ベンチに入れる大人は3名までとする。
 - ①監督は当該校教員または部活動指導員とし、監マークを左胸に付ける。
 - ②コーチは◎マークを左胸に付ける。外部コーチとしてベンチ入りする場合は、事前に県中体連バレーボール部より、外部コーチの承認証を取得しておき、大会申込書に承認番号を記入しておく。当日、外部コーチと分かるものを左胸に付けるか、首にかけておく。承認証は持参しておくこと。
 - ③大人のマネージャー、学校代表（校長・教頭）がベンチ入りする場合は、⓪のマークを左胸に付ける。生徒マネージャーは、⓪はつけない。
- (2) エントリー変更は、受け付け時に会場の競技責任者にエントリー変更届（ホームページからダウンロード）を提出する。その際にスタッフの変更は職印の押印、選手は監督印の押印を忘れないこと。
- (3) 監督・コーチ（外部コーチを含む）・マネージャーの服装については、シャツとズボンの色等が統一されていること。但し、学校代表（校長・教頭）については統一されていなくてもよい。生徒マネージャーは学校のジャージを着用すること。
- (4) 部活動指導員は基本的に運営には携わらないが、審判をお願いすることもある。また、運営について要望等がある場合は学校職員を通じて行うこととする。

3. 競技規則及び競技方法・試合順について

- (1) 2022年度日本バレーボール協会規則及び日本中体連バレーボール部規約による。
- (2) 背番号は、原則として「1～15」とする。（できれば「1～12」）
【注1】ユニフォームからはみ出すパワーパンツの着用及びユニフォームの上からのプロテクターの使用は禁止とする。ソックスはくるぶしが隠れる長さのソックスを着用すること。（スニーカーソックスは認めない。）
【注2】チームスタッフの服装はシャツ・長ズボンとする。なお、首にタオルを掛けない。
【注3】ベンチ入りをするが、試合に出場しないメンバーのユニフォームは他の選手と同じものを着用する。（リベロと同じものは認められない。）
- (3) 大会使用球は男子（モルテン：V4M5000）、女子（ミカサ：V400W）とする。
- (4) 合同チームのユニフォームはどちらかのチームのユニフォームを統一して使用すること。試合毎の変更は可能。
- (5) 監督は、記録席に最も近い席に位置すること。
- (6) ゲーム開始及び終了時の整列・あいさつ・握手はオーダー用紙に記入された12名の選手で行う。
- (7) 練習場所については、会場使用上の諸注意に従うこと。
- (8) ワイピングについては審判の判断でモップを入れる。
- (9) ベンチへ、マスコット・だるま等を持ち込まない。（うちは持ち込み可能）
- (10) ベンチへ、ペットボトルをむき出しで持ち込まない。必ず水筒やスクイズボトルを使用する。
- (11) ハチマキ等は、ユニフォームに準ずるものとし、刺繍等の表記は学校名のみとする。また、腕など身体に文字を書くことは禁止とする。
- (12) ラインナップシートは、1セット目との変更がなくても2セット目の開始時に新たなものを副審に提出する。

(13) 開場時刻、試合開始時刻について

○開場時刻 8:15 第1試合 9:30～

～試合開始までの時間配分の目安～

8:40～（スパイク）、9:00～（サーブ）、9:10～（第1試合のチームのみコート練習）

前の試合の記録が完了してから15分後（連続する場合には20分後）に次の試合のプロトコルを行う。

(14) 試合順については、別紙「組み合わせ」の通りとする。

(15) 今大会では、各セットにつきどちらかのチームが13点になった時点で給水タイム（30秒間）を取ることにする。その際の開始と終了の合図は審判の吹笛による。

(16) 第1日目の生徒役員は、第1試合は第2試合のチームから4名ずつ。その後は負けチームから8名。

第2日目の生徒役員は、第1試合は第2試合のチームから4名ずつ。その後は負けチームから8名。

第3日目の生徒役員は、第1試合は第2試合のチームから4名ずつ。第2試合は第1試合のチームから8名。

第3試合、第4試合は大人で対応する。

(17) 3日目はコート表彰とする。

(18) ベスト8に残ったチームは、3日目に順位決定戦を行う。

4. 新型コロナウイルス対応について

(1) ベンチは椅子を7脚用意し、コートチェンジの際には椅子を持って移動する。消毒作業は試合間で行う。

(2) ベンチスタッフ、リザーブ選手はマスクを着用する。ただし、選手と交代したリベロについてはマスクを着用しなくてもよい。また、熱中症対策の心配がある場合には、着用しなくてもよい。

(3) 試合毎にボール、ラインズマンフラッグ、ベンチ、得点板、モップ等の消毒作業を行う。

(4) 補助員の生徒は基本的にはマスクを着用する。ただし、熱中症対策の心配がある場合には着用しなくてもよい。

(5) 試合前後の握手に関しては、一礼などでこれに変える形とする。（エンドライン上で一礼する）

(6) 観客については、各チーム16名までの観客の入場を認める。パスカードを着用し観戦すること。

また、部員については登録、登録外を問わず入場の制限は無しとする。

5. 会場使用について

(1) 応援席でブルーシート等を敷く場合は、観覧場所の確保をするために、最低でも柵から2mくらい離れた位置とすること。（保護者に事前に伝え、周知徹底すること）

(2) ゴミは、各チームで責任を持って持ち帰り、忘れ物等をしないようにすること。

(3) 駐車場においては、各会場の指示に従って、路上駐車等により付近の住民に迷惑がかからないように、監督を通じて保護者に伝えておくこと。

(4) 各試合会場の使用上の注意や駐車場については県中体連HPを確認しておくこと。

6. その他

(1) 各チームとも、生徒役員（記録、ラインジャッジ、点示）の仕事がきちんとできるようにしておくこと。生徒役員の仕事は、1試合を通じて、同じ生徒が行うことが望ましいが、もしも試合の途中（セット間など）で生徒役員が交代する場合は、交代要員も含めた全員が試合前の審判からの指導を受けること。ただし、記録を担当する生徒については交代することはできない。また、生徒役員はユニフォームを着ている登録メンバーが行うことが望ましい。また、熱中症対策のため、水筒を必ずもっていくこと。

(2) 各チームとも冷やしたタオルや氷を用意するなど、熱中症に対して十分な対応をすること。

(3) 県大会に参加する顧問の先生は審判をする可能性もあるので、短管、長管を用意しておく。

(4) 監督、部活動指導員、コーチ（登録されている外部コーチ）、学校職員（校長・教頭）などの関係者以外はフロアに入ることはできない。関係者以外がフロアに入る場合には本部の許可を得ること。